

# 国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.269  
2021.9▶10

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2021 年 9 月 1 日  
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

## 実行委員長インタビュー 広瀬 浩二郎 先生

…特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる!“触”の大博覧会」…

## 「ユニバーサル」という発想に こだわりたい。



——展示の構成、開催にいたる経緯について教えてください。

視覚優位の展示のあり方を問い直し、誰もが楽しめるユニバーサル（普遍的）な博物館を築くこと、その具体例を示すことがこの特別展のねらいです。会場ではすべてのアート作品にさわるができます。導入部のほか、六つのセクションにわかれていて、全体をとおして「触」の可能性をさぐる展示を目指しました。体全体でさわることに「ユニバーサル」を楽しんでほしいと思います。

僕がみんぱくに着任したのは二〇〇一年。当初は自分の専門である日本の歴史や宗教をメインに研究を進めるつもりでしたが、勤めてみると博物館というのは面白い。博物館や美術館は見ることを前提に成立し、発展した施設です。偶然にも見ることで

きない自分がみんぱくに就職したのは、博物館という場所で何かやるべきことがあるんだろうな、と考えるようになりました。

僕が最初に実行委員長をつとめたのは、二〇〇六年の企画展「さわる文字、さわる世界」です。反響があったし、僕自身が展示の可能性を実感する機会になりました。いまでは触覚に焦点をあてたワークショップなどを企画するのが、僕のもうひとつの研究の柱になっています。活動を続けていくうちに「さわる」とか「ユニバーサル」というコンセプトに関心をもつ方から声をかけられることが多くなりました。名誉教授の小山修三先生に発破をかけられたこともあって、二〇〇九年に通称「ユニバーサル・ミュージアム研究会」を発足します。障害をもつ人だけでなく、さわることで親和性のある考古学や美術作品を触覚的に翻案



【会期】 2021年9月2日(木) - 11月30日(火)  
【会場】 国立民族学博物館 特別展示館

### 企画展

## 躍動するインド世界の布

インドにおける布は、衣装としてだけでなく、人生儀礼における贈与や、神がみへの奉納、社会運動でのシンボルといった多様な役割を担っています。人びとと布の多様な関係性は、多宗教、カースト制度、数百を超える言語といったインド社会の特質と深く結びついています。インド世界の布は、場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだします。企画展では、インド社会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布とともに紹介します。



会期  
2021年10月28日(木)  
～ 2022年1月25日(火)  
会場  
国立民族学博物館  
本館企画展示場

2022 年の国立民族学博物館オリジナルカレンダーは企画展の出品資料より選びました。詳細は 2 ページをご覧ください。



時空ピラミッド（北川太郎）加賀雅俊撮影  
セクション1「彫刻を超越する」

豊かで目にも楽しく、さわつても面白いというような作品を集めています。最後のセクションでは、暗い展示場で得た経験を生かして作品を鑑賞してもらえればと思います。僕が三年ほど滞在していたアメリカでは、

しようとする美術館の方、アート作品のつくり手などが研究会のメンバーに加わりました。特別展は研究会の活動の集大成でもあります。さわることをキーワードに、僕がいまもっているコネクションのあるものをすべて特別展に取り入れました。だから展示はある意味ごちゃ混ぜ（笑）。でも、カオス的なもののなかから新しい発見は生まれるものだと思ふし、特別展をそういう場にしたいとも考えています。

——展示の準備で印象にのこっていることはなんでしょう。

今回嬉しかったのは、照明を落とした展示が実現できたことです。暗くすればみんなにさわってもらえるだろうという、展示デザイナーの方の発案です。僕は以前、探究ひろばにある「世界をさわる」というコーナーの展示を担当しました。ここもさわる展示なんです。利用者の反応は二極化しています。ひとつは子どもたち。さわつていいんだ、遊んでいいんだと、資料を

乱暴に扱ってしまうことがある。かたや多くの大人は、資料を見てもさわらずに通過ぎてしまうんですね。どちらも「博物館は見る場所」というある種の常識が刷り込まれているからなんだと思います。僕はさわるマナーを伝えることも大切だけど、さわらない人たちにどうしたらさわってもらえるのかを考えることも重要だと考えています。

ドイツ発祥の「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」という仕掛けをご存知ですか。暗闇のなかで視覚以外の感覚を使ったコミュニケーションを楽しむ企画です。素晴らしいアイデアなんですけど、体験スペースは暗闇でも、出口の外は明るい。視覚に頼らない非日常と視覚に頼る日常が分断されているな、もつと連続したしつらえにならないかな、と感じていました。僕が暗い展示に期待するのは、明るい場所でも効果的にさわってもらえるようになることです。そこで特別展では、最後のセクションだけ明るくしてもらいました。また、このセクションには、色彩



とるける身体——古墳をひっくり返す（岡本高幸）  
セクション4「歴史にさわる」

ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の取り組みが日本よりも進んでいました。民族や人種など「違う」ことが当たり前前の社会では、障害も違いのひとつとして受け入れられています。視覚、聴覚、発達障害……と、個々のケースに対応できるプログラムが博物館にも用意されていました。でも僕は、「ユニバーサル」という発想にこだわりたい。それには個別に対応するのではなく、マジョリティの社会がもつ価値観や世界観を変えていくことが大切だろうと思うんです。マイノリティ側から働きかけて博物館や社会を変える。それがやがて新たな普遍性となる。その発想が「ユニバーサル・ミュージアム」の根底にあります。欧米にはないユニークな試みなので、ゆくゆくは日本から世界に発信できればと考えています。（聞き手・事務局）

作品はすべて特別展に出品されています。セクション名は特別展の展示セクションです（写真はすべて国立民族学博物館より提供）  
◎みんなくでは感染症の予防を踏まえ、安心してご来館いただくための取り組みをホームページで公開しています◎

2022年 国立民族学博物館オリジナルカレンダー

## 躍動するインド世界の布

2022年の国立民族学博物館オリジナルカレンダーは、企画展「躍動するインド世界の布」の展示資料から選びました。

人生儀礼における贈与品、神がみへの奉納品、社会運動のシンボルなど、多様な布の世界をお楽しみいただけます。

それぞれの資料には、研究者による解説を添えています。

お問い合わせ

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ（水曜日定休）

e-mail [shop@senri-f.or.jp](mailto:shop@senri-f.or.jp)

オンラインショップ「World Wide Bazaar」

<https://www.senri-f.or.jp/shop/>

友の会会員価格 1,188円（税込）

定価 1,320円（税込）

※5冊以上まとめてのご購入の場合は、1冊1,056円（税込）

※通信販売の場合、別途発送手数料が必要です。



サイズ：25cm×25cm  
（開くと縦50cm×横25cm）  
オールカラー／28頁／中綴じ

# 人類・いのち・万博——1970から2025に向けて



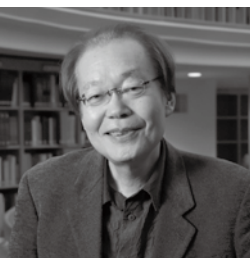
西尾 章治郎



ウスビ・サコ



山極 壽一



井上 章一



吉田 憲司

大阪万博（EXPO1970）開催から50年の節目にあたる2020年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世界が一変し、人類は未知の脅威に立ち向かう年になりました。「人類の進歩と調和」をテーマにしたEXPO1970から「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとするEXPO2025への展開を踏まえ、シンポジウムを開催します。

## 申込方法

- 友の会会員優先受付 9月21日(火)～9月30日(木)
- 一般受付 10月1日(金)～11月16日(火)

千里文化財団ホームページ内の受付フォームよりお申し込みください。  
(友の会会員優先受付は電話もご利用いただけます。友の会事務局までご連絡ください)

催し詳細・受付フォーム

[https://www.senri-f.or.jp/expo\\_symposium2021/](https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2021/)



日 時 2021年11月23日(火・祝)  
13:30～16:40(開場12:30)  
会 場 みんなくインテリジェントホール(講堂)  
参加費 無料(申込先着順)

参加方法 ①会場での参加(定員160名)  
②オンライン(ライブ配信)での参加  
※会場参加は、要会員証もしくは展示観覧券  
登壇者 西尾 章治郎(大阪大学総長)  
ウスビ・サコ(京都精華大学学長)  
山極 壽一(総合地球環境学研究所所長)  
井上 章一(国際日本文化研究センター所長)  
吉田 憲司(国立民族学博物館長) \*発表順  
主 催 公益財団法人千里文化財団

みんなくインテリジェントの資料があなたの街にまわります！

## 巡回展のご案内

東京 国文学研究資料館 特別展示

### 復興を支える地域の文化 ——3.11から10年

会 期：2021年9月29日(水)まで  
会 場：国文学研究資料館 1階展示室



主催  
国文学研究資料館  
国立民族学博物館

災害からの復興に、地域の文化はどのような役割を果たしているのでしょうか。2021年春にみんなくで開催した特別展のエッセンスを、モバイル展示を中心に紹介します。

入場無料  
開室時間 10時～16時(入室は15時まで)  
※11時～12時は閉室となります。  
9月中の開室日  
1日(水)、3日(金)、6日(月)、8日(水)  
10日(金)、13日(月)、15日(水)、17日(金)  
22日(水)、24日(金)、27日(月)、29日(水)

入室は完全予約制です。  
国文学研究資料館ホームページ内の予約フォームをご利用ください。

国文学研究資料館 展示詳細・予約フォーム

<https://www.nijl.ac.jp/event/exhibition/2021/08/post-34.html>



北海道 国立アイヌ民族博物館 第3回特別展示

### ビーズ ——アイヌモシリから世界へ

会 期：2021年9月18日(土)～11月21日(日)  
会 場：国立アイヌ民族博物館 特別展示室



主催  
国立アイヌ民族博物館  
国立民族学博物館  
千里文化財団

国立アイヌ民族博物館  
展示詳細・予約フォーム

<https://nam.go.jp/exhibition/floor2/special/beads2021/>



地球上のあらゆる地域でみられるビーズ。2017年春にみんなくで開催した特別展「ビーズ」のコンセプトをアレンジし、ビーズをめぐる北海道の歴史とアイヌ文化に関する展示を充実させました。

特別展示観覧料  
大人300円、高校生200円、中学生以下無料  
ウポボイ入場料  
大人1,200円、高校生600円、中学生以下無料  
※特別展示観覧料と民族共生象徴空間(愛称「ウポボイ」)の入場料が必要です。

開館時間  
・10/31まで：平日 9時～18時  
土日祝 9時～20時  
・11/2以降：9時～17時  
※いずれも入館は閉館時間の30分前まで。  
休館日  
毎週月曜日。会期中9/20(月)は開館、9/21(火)が休館となります。

国立アイヌ民族博物館、ウポボイのご利用は予約制です。予約方法は各施設のホームページでご確認ください。

本紙掲載の情報は、2021年8月23日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により、急遽、予定を変更する場合があります。最新情報は、みんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。

## みんぱくゼミナール、研究公演 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナール、研究公演には維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。

会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。

催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内の各催しのご案内をご確認ください。

館内催しの詳細はこちら！ <https://www.minpaku.ac.jp/event/>



### みんぱくゼミナール

#### 第513回

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる！「触」の大博覧会」関連】

#### 健常者とは誰か

——琵琶なし芳一の話

講師 広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時 9月18日(土)13:30~15:00

参加方法 オンライン(ライブ配信)(定員300名)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本講演会は、オンライン配信のみでの開催となります。

#### 申込期間

##### ■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

※受付期間は終了しました。

##### ■一般受付

・オンライン予約

期間：9月15日(水)まで

#### 第514回

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる！「触」の大博覧会」関連】

#### ユニバーサル・ミュージアムとは何か

——暗闇で「野生の勘」を取り戻せ

講師 大石 徹(芦屋大学教授)、黒澤 浩(南山大学教授)

篠原 聡(東海大学准教授)、広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時 10月16日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員160名)

②オンライン(ライブ配信)(定員300名)

#### 申込期間

##### ■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

期間：9月13日(月)~17日(金)

※先行予約は会場参加が対象です。

##### ■一般受付

・オンライン予約

期間：9月21日(火)~10月13日(水)

・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

#### 第515回

#### 産後三・七日間の変化

——韓国の伝統慣習から産後ケア施設まで

講師 諸 昭喜(民博助教)

日時 11月20日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員160名)

②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

#### 申込期間

##### ■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

期間：10月8日(金)~15日(金)

※先行予約は会場参加が対象です。

##### ■一般受付

・オンライン予約

期間：10月18日(月)~11月17日(水)

・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

### 研究公演

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる！「触」の大博覧会」関連】

#### 身体で聴く「土の音」

——触れて打つ、揺らして揺る

出演 永田 砂知子(打楽器奏者)

解説 渡辺 泰幸(造形作家)

司会 広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時 11月13日(土)13:30~15:15(開場13:00)

参加方法 ①みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員160名)

②オンライン(ライブ配信)(定員300名)

#### 申込期間

##### ■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

期間：9月27日(月)~10月1日(金)

※先行予約は会場参加が対象です。

##### ■一般受付

・オンライン予約

・メール・電話予約

期間：10月4日(月)~11月5日(金)

### 申込方法

#### ■友の会電話先行受付

該当期間中に友の会事務局までお申し込みください。

会場参加のみ/申込先着順/本人を含む2名まで

【申込先】千里文化財団友の会事務局

電話 06-6877-8893(9時~17時、土日祝を除く)

#### ■みんぱくゼミナールの一般受付

該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。

申込先着順/会場参加は本人を含む2名まで

・オンライン予約

みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。

・当日受付(会場参加のみ)

本館2階 みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて、

当日11時より受け付けます。

#### ■研究公演の一般受付

該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。

申込先着順/会場参加は本人を含む2名まで

・オンライン予約

みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。

・メール・電話予約(会場参加のみ)

予約の際に次の必要事項をお知らせください。

①「11月13日研究公演」②参加人数 ③氏名(漢字・ふりがな) ④連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか) ⑤都道府県(③~⑤は代表者のみ)

【申込先】国立民族学博物館 企画課博物館事業係 イベント予約受付

電話 06-6878-8210(10時~16時、土日祝を除く)

メール yoyaku-event@minpaku.ac.jp

※参加無料(研究公演は会場参加の場合、要展示観覧券、友の会会員は会員証提示)。

会場参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階 みんぱくインテリジェントホール(講堂)前にて配布します。

### 感染予防にご協力ください

博物館の感染症対策、それに伴う来館者のみなさまへのお願いをみんぱくホームページのトップページで公開しています。みんぱくでは当面のご来館に際しては、オンラインでの事前予約をおすすめています。友の会会員は入館予約が不要です。ご入館の際は1階受付カウンターで会員証をご提示ください。同行者が非会員の場合はオンラインでの入館予約をおすすめてください。スムーズにご入館いただけます。また、催しの参加予約をされている方も入館予約は不要です。



## 9月・10月のイベントスケジュール

### ■特別展

9/2(木)～11/30(火)  
「ユニバーサル・ミュージアム  
——さわる!“触”の大博覧会」

### ■企画展

10/28(木)～2022/1/25(火)  
「躍動するインド世界の布」

### ●友の会講演会【要予約】

9/4(土)黒田賢治(★)  
10/2(土)辰巳明久、京都市立芸術大学の学生有志  
広瀬浩二郎(★)

### ●みんぱくゼミナール【要予約】

9/18(土)広瀬浩二郎(★)  
10/16(土)大石徹、黒澤浩、篠原聡、広瀬浩二郎  
(★)

### ●みんぱくウィークエンド・サロン

9/26(日)鈴木紀、10/10(日)三尾稔  
10/24(日)韓敏

### ●その他の催し

特別展関連ワークショップ  
9/11(土)「Love Stone Project-UM(ごっこつ編)」  
9/19(日)「こころのかたち、きもちのかたち」  
【要予約】  
10/3(日)「Love Stone Project-UM(ざらざら編)」  
10/31(日)「『さわる』をデザインする——ポップ  
アップ本の魅せ方」【要予約】

- ◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。
- ◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがござ  
います。また、会場とオンライン配信の併用(★印)、も  
しくはオンライン配信のみ(★印)で実施する催しもご  
ざいます。詳細はみんぱくならびに友の会のホームペ  
ージをご確認ください。
- ◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

## ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



## 友の会講演会のご案内

事前申込先着順です。友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

会場とオンライン配信より、参加方法をお選びいただけます。

10月は特別展関連の講演会です。  
会場ならびに参加対象が異なります。

### ■10月

会場：みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員160名)  
参加対象：維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、  
みんぱくフリーパス、特別フリーパス  
※会員以外の方も、会場での聴講はご参加いただけます(資料代500円)。

### ■9月、11月

会場：第5セミナー室(定員40名) ※9月はオンライン配信のみで開催します。  
参加対象：維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、  
特別フリーパス

※メイン会場が満席の場合は、中継会場(第3セミナー室/定員17名)にご案内いたします。

### 第516回

## 金曜日には墓地で会いましょう

——イランにおける死の多義性と「英霊」

講 師：黒田 賢治(民博特任助教)

日 時：9月4日(土)13:30～14:40

参加方法：オンライン(ライブ配信)での参加

新型コロナウイルス感染症  
拡大防止のため、  
オンライン配信のみでの  
開催となります。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/516tomo/>

### 第517回

会員以外の方も、会場での聴講はご参加いただけます(資料代500円)。

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム——さわる!“触”の大博覧会」関連】

## さわる名画ができるまで

——その多様性と可能性

講 師：辰巳 明久(京都市立芸術大学教授)、京都市立芸術大学の学生有志  
広瀬 浩二郎(民博准教授)

日 時：10月2日(土)13:30～14:40(開場13:00)

参加方法：①みんぱくインテリジェントホール(講堂)での参加  
②オンライン(ライブ配信)での参加

京都市立芸術大学では、ビジュアル・デザイン専攻3年生の進級制作課題として、「絵画の立体化」に取り組んでいます。これまでも視覚障害教育・福祉の文脈で「さわる絵画」が作られてきましたが、芸大生の「さわる絵画」は単なる視覚から触覚への置換ではありません。視覚芸術の再解釈、名画の再創造にトライした学生たちに、制作の裏話を紹介してもらいます。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/517tomo/>

特別展関連の東京講演会「なぜさわるのか、どうさわるのか——触覚の新展開をめざして」(10/30開催予定)は、現在、調整中です。詳細が決まり次第、友の会のホームページでお知らせいたします。

### 第518回

## カフィル・カラ遺跡の食糧庫跡

——発掘調査成果から考える「食」の過去と現在

講 師：寺村 裕史(民博准教授)

日 時：11月6日(土)13:30～14:40(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加  
②オンライン(ライブ配信)での参加

ウズベキスタンのカフィル・カラ遺跡では、2017年度までの調査でゾロアスター教関連の木彫り板絵が発見されましたが、その後の発掘で食糧庫と考えられる別の部屋が見つかりました。今回の講演では食糧庫跡の発掘成果を紹介しつつ、出土した遺物(炭化した穀物やクルミ、ニンニクなど)と現在の食べ物を比較しながら、オアシス都市での「食」の過去と現在について考えます。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/518tomo/>

■第513回■2021年6月5日(土) ※オンライン配信で開催

## 女神となった疫病

— インドの天然痘女神信仰

三尾 稔 (民博教授)

古代から罹患率も致死率も高い伝染病として人類を悩ませた天然痘は、北部インドのヒンドゥー教徒のあいだではシータラーマター女神として信仰されてきました。天然痘が絶滅した一九八〇年代以降もこの女神は病気を防ぐ神としていまも篤く信仰されています。講演会では、調査地での儀礼の様子も踏まえ、シータラーマター女神信仰の特徴を考察しました。

ヒンドゥー教信仰のなかには象徴的な意味で「熱く、上手く制御しなければすべてを破壊する危険



婚礼前に無病息災を願い、天然痘女神を拝礼する女性たち。  
中央の岩が女神のご神体 (インド、ウダイプル市、2012年)

を伴う力をもつ女神を人間界に取り込み、その生命力に与ろうとする伝統が見られます。恐ろしい熱によつて多数が亡くなり、延命した場合も身体に瘢痕を残すものの二度と罹患はしない天然痘は、「熱」を帯びた女神の力の現れであり、病後の瘢痕は女神が身体に宿つたしるしと捉えられていました。また予防手段として牛痘接種よりも前からアジアやアフリカでおこなわれていた人痘接種は、ヒンドゥー教徒のあいだで女神の力の身体への取り込みという信仰にもとづいておこなわれていたと考えられます。

天然痘女神信仰には、人知を超える力や現象を神として信仰し、その力に与ろうとするヒンドゥー教の特色が色濃く現れています。また自然を征服し意のままに操ろうとするのではなく、自然と共存しつつその力を利用してもらうという自然観も窺えます。このような自然観は新型コロナウイルス感染症への対応に振り回される現代文明を考えるうえでも重要な示唆を与えてくれるのではないでしょう

■第514回■2021年7月3日(土) ※オンライン配信で開催

## 河西回廊の石窟寺院と美術

末森 薫 (民博助教)

黄河の上流から西に延びる河西回廊は、古代から人びとや物資が行き交う交通路でした。インドで誕生した仏教もこの回廊を通つて中国へと伝わり、前漢の武帝の時代に設置された河西四郡(武威、張掖、酒泉、敦煌)のオアシス都市の近郊には、洞窟を仏教寺院に見立てた石窟寺院が数多く残っています。そして、その内部は像や壁画などの美術で荘厳されています。



山深い絶壁にひらかれた麦積山石窟

河西回廊の西端に位置する敦煌には、七〇〇以上の洞窟が残る莫高窟があります。一〇〇〇年以上にわたって造営が続けられた莫高窟には、さまざまな空間をもつ洞窟がつくられました。左右の壁面にいくつもの小さい空間が設けられた僧房窟では、坐禅の修行がおこなわれていたと考えられています。また、空間の中央に柱をつくる中心柱(塔廟)窟では、柱の周囲を右回りに廻る礼法(右繞)がおこなわれていました。

天水にある麦積山石窟には、七〇〇〇体以上の像と二〇〇〇平方メートルにおよぶ壁画が残っています。如来や菩薩、弟子、力士などをあらわした塑像は、木材や藁ササで芯部をつくり、そこに泥土を何層か重ねて造形されました。その他にも、型抜きした影塑や、大まかに造形された石芯の上に泥土を重ねて造形する石胎泥塑など、さまざまな塑造の技法が用いられています。また、泥土を重ねてつくられた壁面には、仏が説法する姿や仏の前世物語(本生譚)、中国の伝統的図像などが描かれています。

本紙掲載の情報は、2021年8月23日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する可能性があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会

公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1(国立民族学博物館3階)

電話 : 06-6877-8893(平日9:00~17:00)

FAX : 06-6878-3716

e-mail : minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ

https://www.minpaku.ac.jp



Facebook

https://www.facebook.com/MINPAKU.official

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ

https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/



Facebook

https://www.facebook.com/minpakutomo/